



目次：コンソーシアム総会／ユネスコエコパークオンライン学習会イベント／附属学校園高原学習／学校研修会(山ノ内東小、豊科南中、山ノ内南小)／ユネスコスクール加盟申請(白馬中、遠山三校)

## 6月8日 ユネスコエコパークについてのオンライン学習イベントを開催しました

ユネスコエコパーク(生物圏保存地域：Biosphere Reserves)は、豊かな生態系を保全しながら、自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域で、現在はSDGs達成のモデルとしても注目されています。このユネスコエコパークはESD学習の場としても好適であり、とくに自然豊かな核心地域や緩衝地域では、自然体験学習を中心としたESD／SDGs学習実践が多く行われています。しかし



一方で、ユネスコエコパークそのものについて学ぶ機会が不足していたことから、ユネスコエコパークでの体験学習が、その後の探求的な学習活動に結びつきにくいという課題がありました。

そこで今年度はじめて、ユネスコエコパーク地域でESD／SDGs学習に取り組む小中学校を対象に、ユネスコエコパークについてのオンライン学習イベントを開催しました。本イベントでは、ユネスコエコパークの制度や理念についてのほか、各地のユネスコエコパークの紹介やユネスコについて、水谷(信州ESDコンソーシアム)が、日本自然保護協会の朱宮丈晴氏、長野ユネスコ協会青年部の長坂朋美氏とともに解説しました。実施日の6月8日は、ユネスコエコパークでの自然体験等の事前学習としての活用とあわせて、関係する2つの国際デー(国際生物多様性の日(5月22日)、世界環境デー(6月5日))を意識して設定したものです。本イベントには4サイトのユネスコエコパークから11校の小中学校が参加し、ライブ配信の同時視聴だけで183人がユネスコエコパークへの理解を深めました(この後のアーカイブ視聴参加者数は、現在調査中です)。

参加された児童・生徒の皆さんからは、「ユネスコエコパークやESD、SDGsについてしっかり知ることができた」「地域のエコパークを大切に思えるようになった」といった声が寄せられました。本イベントは今年度の成果と課題を踏まえ、来年度以降も拡大して実施する予定です。(水谷瑞希)

## 6月23日 山ノ内東小学校でESD／SDGs研修会を開催しました

ESD／SDGsについての講演と、ESDカレンダー作成ワークショップの組み合わせによるESD／SDGs研修会は、これまでにいくつかの学校で実施していますが、山ノ内東小学校では今年がはじめての開催です。今回の研修会では、講演「ユネスコスクールとしてのESD／SDGsの進め方」で基本的な事項について共通理解を図った後に、カリキュラムマネジメントとしてのESDカレンダーの作成に取



り組みました。当初は参加者の間に「何をすればいいんだろう」という戸惑いも見られましたが、ワークが進むと「気持ちが前向きになった」「楽しく取り組むことができた」「困っていたことが解決した」など、ポジティブな感想が聞かれました。当日ワークショップで取り上げたESDカレンダーは2学年のみでしたが、この後も引き続きすべての学年で、同様の取り組みをおこないたいとのことでした。参加者は東小教職員と町教育委員会の計12名でした。  
(水谷瑞希)

## 6月24日 白馬中学校とユネスコスクール申請について打合せをおこないました

白馬中学は国際的リゾート地の学校として早くから地域との連携授業などがおこなわれており、今年ユネスコスクール申請をおこないます。先だって、ユネスコスクールを支援する信州大学教育学部との連携として浅原校長など担当者と改めてユネスコスクールについての学習と今後の進め方について打ち合わせをおこないました。年々、申請校が増えてESDが実質化してゆくことが期待できます。  
(渡辺隆一)



長野県 山ノ内市 白馬村立白馬中学校

ス・2021-2 令和3年6月22日

白馬SDGsミーティングの開催について

## 6月30日 山ノ内南小学校でESD/SDGs研修会を開催しました



山ノ内南小学校でのESD/SDGs研修会は、4月に続いて2回目の開催です。今回の研修会は奈良教育大学の中澤静男先生を講師に迎え、授業公開(1年、2年、6年)と授業実践への指導・助言、講演といった内容で実施しました。当初は対面で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けてオンラインでの開催に変更しました。授業公開はZOOMのブレイクアウトルーム機能を使って3学年の授業の様子を同時中継し、講師の中澤先生から授業実践の内容だけでなく、授業の技術などについても詳細なコメントをいただきました。また講演「ESDの教育実践への理解促進」では、明確な目標(育成する資質・能力や目指すこども像)を設定することや、カリキュラムマネジメントの重要性が強調されました。参加者は南小教職員と町教育委員会の計11名でした。  
(水谷瑞希)

## 7月14日、19日 信州大学附属学校園が志賀高原で高原学習をおこないました

ユネスコエコパークに登録されている志賀高原には、ESDやSDGsの視点で自然学習に取り組む学校が多く訪れます。今年は信州大学附属学校園のうち松本中学校と長野小学校が、志賀高原での学習に取り組みました。

7月14日に志賀高原を訪れた松本中学校は毎年、志賀高原観光協会・ガイド組合の「環境学習プログラム」を利用しています。このプログラムではユネスコエコパークについての事前学習をおこないますが、この講演内容を松本中学校の要望にあわせてこちらで作成したほか、ガイドの皆さんへSDGs等のレクチャーを行うなどの支援をおこないました。SDGsを意識した事前学習資料は、附属学校園だけでなく他の学校の学習でも活用できることから、地域貢献にもつながっています。



長野小学校は、今年がはじめての志賀高原での高原学習でした。長野小学校は7月2日に出前講座により小学校で事前学習をおこない、7月19日に高原学習で志賀高原を訪れました。志賀高原では自然観察路のトレッキングのほか、紙漉きや炭焼きなど、学級総合に関係した活動を体験しました。体験活動の際にはニホンカモシカも姿を見せ、児童の皆さんは志賀高原の豊かな自然を満喫していました。  
(水谷瑞希)



## 7月23日 豊科南中学校でSDGsの校内研修をおこないました

安曇野市はSDGsを推進しており、ユネスコスクールも豊科南小をはじめ積極的に取組はじめています。今回は中学校での取組を支援するために出前講座をおこないました。全職員がSDGsとESD、ユネスコスクールの関係、文科省の学習指導要領に明記されるようになった持続可能な社会のための人材育成(ESD)を中心に地域に根差した新しい教育への期待を紹介しました。今後の展開が楽しみです。  
(渡辺隆一)



## 7月26日 飯田市遠山三校とユネスコスクール申請について打合せをおこないました

飯田市遠山郷にある3つの小中学校(和田小学校、上村小学校、遠山中学校)は、「霜月祭」をはじめとする地域学習が特徴で、以前からESD実践に取り組んでおり、いずれもユネスコスクールへの加盟を目指しています。この日はユネスコスクール加盟手続きのステップの一つ「チャレンジ期間」の終了判定に向け



て、3校の先生方と市教育委員会の方にお集まりいただき、ユネスコスクールに求められる「3つの優先行動分野」に関連する取り組みなどについて聞き取りを行うとともに、確認資料提出の打合せをおこないました。また今後の活動の深化に向けて、飯田市が推進するLG教育(ローカルとグローバルを一体的・系統的に学ぶ教育)との連携や、地域での校種間連携等について意見交換しました。

(水谷瑞希)

SDGs  
ニュース

- 7月25日信毎ヤンジャに中野西高校のESD活動が紹介されました。記事中にユネスコスクールの解説もあり、県内に広がる契機になればと。
- 第12回ESD大賞の募集受付が開始。持続可能な開発のための教育(ESD)に積極的に取り組む学校を奨励する「ESD大賞」が募集されました。今年度のユネスコスクール全国大会は11月に開催予定で、最優秀校には『文部科学大臣賞』が授与されます。締切は9月27日、詳細はHPを参照ください。



信州ESD通信

No.40 2021.8.1

発行：信州ESDコンソーシアム事務局 編集：渡辺隆一  
〒380-8544 長野市西長野6 信州大学教育学部  
事務局：清水・松橋 TEL026-238-4034 kyoesd@shinshu-u.ac.jp